

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28年 2月 9日 (19:00~21:00)
------------------	-----	----------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	全体会議出席者
-------------------	------	---------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画
前回の改善計画に対する取組み結果

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3 人	15 %	13 人	65 %	4 人	20 %	0	0 %	20 人	100 %
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2 人	10 %	16 人	80 %	2 人	10 %	0	0 %	20 人	100 %
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4 人	20 %	10 人	50 %	6 人	30 %	0	0 %	20 人	100 %
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2 人	10 %	9 人	45 %	9 人	45 %	0	0 %	20 人	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>アセスメント、カンファレンス、モニタリング、申し送り、日誌等で情報を共有することが出来ており、家族や利用者の必要なことや意向を把握している。日々変わる利用者の状態に合わせて対応や声掛けに気を付けてコミュニケーションが取れている。職員は普段から態度や声掛けだけでなく、外見や身だしなみにも気を付けて家族や利用者が不快や不安な気持ちにならないよう配慮している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>情報を共有できても常にそれを意識したり、覚えていることが実務に追われてしまい難しい。利用者が望んでいないのについて手を出してしまう時がある。訪問や通いで初期の声掛けについて、苦手・介助が必要な利用者さんとの会話やコミュニケーションに偏りがち・忙しくてコミュニケーションを取る余裕がない等の理由で利用者さんとの初期のコミュニケーション不足が考えられる。また、家族や介護者との交流できる機会が少ないとの意見もあり。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>一日一回は利用者さん全員に声をかける。 チェック項目を見て、事故の身だしなみを毎日チェックする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 3 月 22 日 (19:30~21:00)
------------------	-----	------------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	全体会議出席者
--------------------------	------	---------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 %	17 人	85 %	1 人	5 %	0 人	0 %	20 人	100 %

前回の改善計画
一日一回は利用者さん全員に声をかける。チェック項目を見て、事故の身だしなみを毎日チェックする。

前回の改善計画に対する取組み結果
全月に比べて利用者とのコミュニケーションが取れるようになった。出勤時には必ず利用者に声掛けをするようになった。一日に一回も声をかけない利用者はいなかった。身だしなみについて、爪などの手入れを忘れたことがあった。ホールだけの業務ではないので利用者全員に声掛けするのは難しかった。※コミュニケーションや身だしなみについて意識して過ごすことができ、改めて利用者との関係を見直すきっかけになった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	1 人	5 %	9 人	45 %	8 人	40 %	2 人	10 %	20 人	100 %
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1 人	5 %	10 人	50 %	7 人	35 %	2 人	10 %	20 人	100 %
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1 人	5 %	5 人	25 %	12 人	60 %	2 人	10 %	20 人	100 %
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	3 人	15 %	5 人	25 %	11 人	55 %	1 人	5 %	20 人	100 %

できている点 200字程度で、できていること、その理由を記入すること
アセスメントや介護計画やカンファレンスの記録に職員が目を通すようにしている。(読んだ人はサイン。) 利用者の～したいについては把握している職員が多く、利用者のその時の状態や気持ちを考慮して、工夫して対応するように心がけているという意見が多かった。

できていない点 200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
一人一人の細かい目標まで把握できていない。介護計画に目を通していないまたは、利用者の目標がファイルのどこに記録されているか知らない職員がいる。実行しようとして仕事に追われてできなかったり、初めは意識していても持続できないなどの意見が聞かれた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用者一人一人のケアプランに目を通す。→まずは職員全員が利用者の希望や目標をしっかり把握するところから始めましょう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年4月12日 (19:30 ~ 21:00)
------------------	-----	----------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	全体会議出席者
------------	------	---------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組めましたか？	1	6%	15	83%	2	11%	0	0%	18	100%

前回の改善計画

ケアプランを確認し、実践する。

前回の改善計画に対する取組み結果

ケアプランを確認することはできたが、実践するところまで全員にはできなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	6%	6	33%	9	50%	2	11%	18	100%
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	22%	14	78%	0	0%	0	0%	18	100%
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	17%	10	56%	5	28%	0	0%	18	100%
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	33%	10	56%	2	11%	0	0%	18	100%
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	17%	13	72%	2	11%	0	0%	18	100%

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

アセスメントや本人から話を聞いて利用者の以前の暮らし方を知っていると答えた職員が半数。必要な時に見ればいいのでは？との意見も。ほとんどの職員が本人のペースに合わせた介助ができていると答え、その都度ケアマネや看護師などの連携が取れ、情報が共有されている。ある程度自立している利用者に関しては、日常生活に支障なく、自分の思うように生活できている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者の以前の生活を把握できていなかったり、アセスメントが何でどこにあるのか？などを知らない職員もいた。日常的に本人のペースや変化に合わせた介助を心がけているが、利用者本位にかたよったり、業務を進めようとするあまり職員の都合で動いているときがあり、利用者自身の複雑な感情の起伏についていけず後回しにすることがあるとの意見も見られた。業務に支障が出ない程度に利用者の立場に立って動くのが難しい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

まずは、改めて利用者のアセスメントを読むことから始めましょう。アセスメントをみて利用者の新しい発見や会話のきっかけとしてコミュニケーションにも役立ちます。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2016年5月9日
------------------	-----	-----------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	全体会議出席者
---------------	------	---------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	17 %	12	67 %	3	17 %	0	0 %	18	100 %

前回の改善計画

アセスメントを確認する。

前回の改善計画に対する取組み結果

読むことができた。内容を理解するまで熟読出来ていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	利用者本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5 %	14	74 %	4	21 %	0	0 %	19	100 %
②	利用者本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5 %	8	42 %	8	42 %	2	11 %	19	100 %
③	事業所が直接接していない時間に、利用者本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	0 %	6	32 %	11	58 %	2	11 %	19	100 %
④	利用者本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0 %	4	21 %	7	37 %	8	42 %	19	100 %

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

①本人に聞いたり、アセスメントを見てある程度本人の生活スタイルや人間関係を理解している。②利用者本人と、家族・介護者、地域の人々の関係が途切れないよう事業所レベルでは努力されている。③事業所にいない時の利用者の様子は送迎や訪問時話を聞いたり、連絡ノートなど情報を交換して把握している。④本人に必要な資源は把握している。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

①アセスメントに目を通しきれていない。覚えてケアにあたれていない。人の人間関係は複雑なので把握しきれていない。②個人レベルでのかかわりを維持したり支援することができていない。家族や本人に聞く機会がない。③自分の勤務時間外の利用者の様子は把握しきれていない。他人の人間関係は把握できない。④自分の住んでいる地域の民生委員以外はわからない。資源自体の関係性や支援の内容があいまいで連携が取れていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

ある程度利用者やアセスメントから本人の生活スタイル・人間関係を理解しているが、家族と利用者との関係や利用者のもとからの繋がりを個別に維持していくのは難しく、事業所単位、地区単位での行事参加や外出、季節の行事で支援している。また、利用者の普段の様子を知るために家族と話したいが、訪問や送迎に出ない職員はなかなかできず把握しきれていない。地域の資源について詳しく知る職員は少なく、地域の資源がどのようになっているのかも把握していなかった。次回目標→連絡ノートを活用する。(家族との交流の場が少なく、利用者の普段の様子を知る機会が少ないとの意見あり、どの職員も活用できる連絡ノートを利用して、まずは家族が施設での利用者の様子が分かるように工夫した記入を心がけるようにする。)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年6月17日 (: ~ :)
------------------	-----	----------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	全体会議出席者
----------------	------	---------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3 人 14 %	9 人 41 %	7 人 32 %	3 人 14 %	22 人 100 %

前回の改善計画	連絡ノートを活用しよう。
前回の改善計画に対する取組み結果	半数が出来たと答えたが、半数はあまりできなかった。意識して連絡ノートを見たり、書いたりすることで家族との連絡が円滑にできた。また、職員のものにも責任感が生まれ、連絡ノートに目を通す習慣を身に付けることが出来た。反面、家族のコメントにちゃんと返していなかったり、リーダーやサブリーダーでなければ見る時間がないなどの意見もあった。日々業務は忙しいが、これからも職員全員が意識して取り組むことが大切。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2 人 9 %	11 人 50 %	6 人 27 %	3 人 14 %	22 人 100 %
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9 人 41 %	11 人 50 %	2 人 9 %	0 人 0 %	22 人 100 %
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	7 人 32 %	15 人 68 %	0 人 0 %	0 人 0 %	22 人 100 %
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	9 人 41 %	12 人 55 %	1 人 5 %	0 人 0 %	22 人 100 %

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①ランチドライブや地区のお祭り、施設同士の交流会などで地域の施設やその人たちの協力を得るなどして資源を生かしている。②利用者の希望や体調、環境などに応じて適切にサービスが提供されている。③利用者の体調や心の変化を日頃から気を付けており、申し送りや会議で皆で話し合い共有することが出来ている。④職員がお互いに共有、連携することによって柔軟な対応や介助が出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
①地域の資源としてどんなものがあるのか理解してないし、把握していない。②利用者本人の希望よりも家族の希望が優先されているのでは?と思う時もある。やむを得ない場合に宿泊等上手に説得できずに嫌な思いをさせてしまう時がある。③業務上時間通りに単調な毎日が続き、記録も毎回同じようなコメントになりがち。④日々の介助時だけのかかわりだけでは本人のニーズまでは聞き出せない。言いにくい事などは聞き出せていないのではないだろうか。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ほとんどの職員が利用者との関わりや変化の気付きに気を付けているとしているにもかかわらず、ニーズを把握していなかったり、本当の気持ちに気付いていないのではないかとの意見が多かった。サービス評価第一回目から身だしなみ、アセスメント、ケアプランの再確認、連絡ノートでの家族とのコミュニケーション等、取り組んできた事を生かし、日々の業務に追われて関わりが薄くならないようにそれぞれが意識して利用者に関わり、職員同士に連携を深めてほしい為、目標を利用者の体や心の変化に気付き、記録・共有する。としました。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年7月11日 (19:00~21:00)
6. 連携・協働	メンバー	全体会議出席者

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9%	18人	78%	2人	9%	1人	4%	23人	100%

前回の改善計画	利用者の体や心の変化に気づき、記録を共有しよう。
前回の改善計画に対する取組み結果	意識して細かな事も記録するように心がけた。他の記録も分からなくても確認し、共有できた。変化のあった利用者には最善の対応を心掛けた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2人	9%	5人	22%	3人	13%	13人	57%	23人	100%
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0人	0%	2人	9%	5人	22%	16人	70%	23人	100%
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2人	9%	2人	9%	4人	17%	15人	65%	23人	100%
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	8人	35%	4人	17%	5人	22%	6人	26%	23人	100%

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①定期的に医療機関に受診し、医師や訪問リハビリ、福祉用具などその都度話し合いがされている。②年に一度程度超全体の全事業者が集まる会議があり、参加している。③町内のお祭りや行事に参加している。他の事業所スタッフが開催した講習会に参加できた。④事業所の行事で子供たちと会う機会がある。来所される方に職員が笑顔で対応できている。職員の子供が来やすい環境であり、子供と利用者との交流が出来る。他施設との交流会や行事などで来所する家族も増えた。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
①、②他の機関や自治体との接点が少なく、参加することができない。情報も入ってこないため意識することがない。わからない。③積極的に地区内と交流していない。参加できるような行事が少ない。④利用者や職員の関係者以外が出入りすることは少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修などでほかの機関や自治体職員などと交流することはあるが、普段会議に参加できる職員は限られている。資料を読んで、関係する機関や自治体とひまわりのお家が普段どんなふうに関わっているのか、再認識してみよう。資料を読んで小規模多機能について理解しよう。(ファイルカート下段に小規模とは?というファイルあります。読んだらサインお願いいたします。)	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28年 8月 9日 (: ~ :)
7. 運営	メンバー	全体会議出席職員 名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6 人 29 %	13 人 62 %	2 人 10 %	0 人 0 %	21 人 100 %

前回の改善計画	資料を読んで小規模多機能について理解しよう。(ファイルカート下段に小規模とは?というファイルあります。読んだらサインお願いいたします。)
前回の改善計画に対する取り組み結果	ほとんどの職員が資料を読んで小規模多機能について理解できた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	6 人 29 %	8 人 38 %	6 人 29 %	1 人 5 %	21 人 100 %
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7 人 33 %	11 人 52 %	2 人 10 %	1 人 5 %	21 人 100 %
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 人 5 %	6 人 29 %	10 人 48 %	4 人 19 %	21 人 100 %
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	4 人 19 %	5 人 24 %	6 人 29 %	6 人 29 %	21 人 100 %

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①全体会議などで職員全体の意見を聞いてくれる。事業所に対して意見を言ったりできるように意見箱が設置されている。意見箱の利用などで言いたいことが言えている。②苦情・相談報告書が活用されている。カンファレンスなどで情報を共有し、改善に努めている。利用者家族からの苦情などは検討会で対策をしている。比較的すぐ対応できるものに対してはすぐに対策がなされている。③運営推進会議には地域の方が参加しており、貴重な意見をいただいている。④ひまわりの行事に参加できるよう、家族には案内を送付している。地域の行事などに参加できている。職員の子供が来ることで利用者との交流が出来ている。地域の行事には時間や都合の許す限り、参加している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
①言える人と言えない人がいる。②直接聞く機会がない。運営にまで反映していないと思う。苦情に関して対応出来ないこともある。話し合いなど、取り組む時間帯が合わない。③運営推進会議に参加したことがなく、どんな話し合いがなされているかわからない。運営推進委員会の実態がわからない。地域の方からの苦情などを受けることがない。④病院との連携は取れているが、ほかの地域の施設や機関との連携が十分ではない。日々の業務だけに終わり、事業所の外に目を向けることがほとんどない。職員の業務ではないのする必要がない。地域とのかかわりがまだまだ少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
概ね、職員は自分の意見を言うことができ、それは全体会議などで話し合われているが、実感できるほど運営に反映されていない。②苦情・相談報告書でみんなでも共有、対策している。職員によっては家族と接する機会が少なく、直接聞いたことがない。③運営推進会議では地域の方が参加しているが、玄関に会議録がある事などを知らず、その内容を把握していないため、どんな意見があつてどんな対策がなされているか職員が知らない。④地域とのかかわりを日常の業務の中で実行するのは難しく、職員の業務ではなく、事業所がもっと積極的に取り組むべきだという意見がおおい。以上を踏まえて…運営推進会議録を確認しよう。…を次回目標に決めました。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28年 9月 12日 (19:00 ~ 21:00)
------------------	-----	---------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	全体会議出席職員 名
-----------------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8 人 36 %	10 人 45 %	4 人 18 %	0 人 0 %	22 人 100 %

前回の改善計画

運営推進会議録を読もう。

前回の改善計画に対する取組み結果

読むことができた。内容を理解するまで熟読出来ていない。これから読んでいこうと思う。玄関にあったことを今回初めて知った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	10 人 45 %	7 人 32 %	5 人 23 %	0 人 0 %	22 人 100 %
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5 人 23 %	8 人 36 %	5 人 23 %	4 人 18 %	22 人 100 %
③	地域連絡会に参加していますか	0 人 0 %	3 人 14 %	5 人 23 %	14 人 64 %	22 人 100 %
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6 人 27 %	13 人 59 %	2 人 9 %	1 人 5 %	22 人 100 %

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①職場内での勉強会も多く行われ、全体会議にて実施されることが多いので参加しやすい。職場内外問わずチャンスがあれば積極的に参加している。報告書を積極的に提出し、共有できている。②スキルアップ研修も参加できている。できない時も③地域連絡会がない。④ヒヤリハットや事故報告、避難訓練に参加している。通常の業務時にも意識して気を付けるようにしている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

①施設外での研修が少ない。声がかかったときにのみ参加している。都合が合わずに参加することができないでいる。②積極的に参加できていない。資格取得やスキルアップするための事業所からの協力が少ない。交通費や資格取得するための休業期間を考えると資格取得しづらい。③地域連絡会がない。④ヒヤリハットや事故報告の検討会の結果や対策を生かすためにはもっと工夫が必要では？検討会後の周知が難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

毎月、全体会議の勉強会職員が参加できる一方、外で行われる研修会や講習会には参加できる機会が少ない。資格取得に係る費用や時間を考えると、島外での資格取得はなかなか難しい。地域連絡会そのものがない、または分からない。ヒヤリハットや事故報告をもっと生かせるように工夫し、周知していくことが大事。 ※ヒヤリハットや事故報告検討会の結果を読み返してみよう。一番多い誤薬や転倒の対策を把握しよう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28年 10月 13日 (19:00 ~ 21:00)
------------------	-----	----------------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	全体会議出席職員 名
--------------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか?	10	50 %	8	40 %	2	10 %	0	0 %	20	100 %

前回の改善計画	ヒヤリハットや事故報告検討会の結果を読み返してみよう。一番多い誤薬や転倒の対策を把握しよう。
前回の改善計画に対する取組み結果	同じヒヤリハットを繰り返していることに気付いた。他の利用者に当てはまることもあるので、意識して気を付けていく。何回も検討会が行われて様々な対策が行われているのが分かった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	身体拘束をしていない	9	45 %	9	45 %	1	5 %	1	5 %	20	100 %
②	虐待は行われていない	14	70 %	6	30 %	0	0 %	0	0 %	20	100 %
③	プライバシーが守られている	10	50 %	8	40 %	2	10 %	0	0 %	20	100 %
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	25 %	4	20 %	0	0 %	11	55 %	20	100 %
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	35 %	9	45 %	3	15 %	1	5 %	20	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①やむを得ない場合のみ柵の使用や抑制衣の使用をしている。拘束をできるだけしないような対策がなされている。②虐待が行われている現場を見たこともないし、自分も行っていない。行わないような職場の雰囲気作りが出来ている。③・⑤口外しないようにしている。仕事上の話や書類を外に漏らしたり、持ち出したりすることはない。プライバシーや個人情報が守られるように普段から意識している。④今現在、利用者の中に成年後見人制度が必要な方がいないということがわかっている。メモ用紙などに個人情報がないかなどみんなが気を付けて仕分けしたり、シュレッダーにかけている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①拘束衣を家族に承諾を得ないままお試しで始めてしまうケースがある。ベッドを外して床マットにししたりしている。②ちょっと待っててということが多い。(スピーチロック)これは言葉による虐待では?と思うことがある。つい言葉使いがなれなれしくなったり、厳しくなってしまうことがある。③どこまでプライバシーを守るのか曖昧。排泄チェックなどを大きな声で確認してしまう。個人台帳を開いたまま離席したことがある。④成年後見人制度を必要とする利用者が今の所いない。該当者がいない。必要かどうかの判断がわからない。⑤利用者の前で他の利用者の個人的な話をしてしまう。外部へ情報が洩れることはないが、内部で職員や利用者さんの話が他の利用者さんに漏れていることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>①転倒の恐れが高く、やむを得ずベッドをはずしマット対応としている。知識不足で拘束に関してちゃんと把握しているか、もしもやむを得ず拘束する場合の手順がちゃんと踏まれているのかが不明、曖昧なのでそこをしっかりと周知する。その都度本当に必要か検討することが大切。②利用者本位に動いていない。③離席する際は個人情報が漏れないか確認してから離れる。④該当者はいないが、成年後見人制度を改めて周知したほうが良い。⑤職員同士の話は声の大きさや場所を考えて、他の利用者さんに個人情報が漏れないように工夫する。配慮が足りない。休憩時間も噂話などには参加しないようにしている。後回しにしない。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	有限会社 岡村	代表者	代表取締役 岡村 栄一	法人・事業所の 特徴	地域密着型特定施設と併設されており、屋久島町にただ一つの小規模多機能である。海と山とが一望できる。利用者が自分のペースで通いや宿泊、訪問を利用できるように、家族・職員・看護師との連携を密にし利用計画を立てて、家族の急病や台風などによる急な利用にも対応している。常時見学なども受け入れており、地域住民とも親交を深め親しみやすい施設を目指している。
事業所名	ひまわりのお家	管理者	岡元 さつき		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	2 人	1 人	0 人	2 人	0 人	1 人	3 人	1 人	11 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	初年度の為、記載なし	初年度の為、記載なし	自己評価をすることによって「みなおす」ことが出来、もっと実務的にも改善につながっていくと思う。改善すべきことについて意見を出し合い、自己及び事業所の質の向上に取り組んでいる。非常に良いと思う。	初年度という事で職員と話し合い基礎的な事から見直し自己評価に取り組んだ。来年度は今年度の反省を生かし、事業所全体で取り組んでいきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	初年度の為、記載なし	初年度の為、記載なし	病院と比べると感じるのはひまわりで不快な音や臭いがほとんどありません。素晴らしい。事業所を居心地のいい空間にするための努力が続けられている。鍵がまだロックしている部分がある。玄関のロック部分には仕方ないことなのだと一応納得している。	玄関ロックについて職員数に余裕があつて目が届くときは玄関ロックを解除しておくなどを試してみる。
C. 事業所と地域のかかわり	初年度の為、記載なし	初年度の為、記載なし	事業所側としてチェックは大切だと思うが、職員の負担になりすぎないようにしてほしい。常に良好な事業所にすべく努力している姿勢を地域住民も評価している。もっと地域のボランティア活動の協力を得るような取り組みも大切では？	ボランティアや地域の学校や保育所などの訪問を積極的に受け入れる。利用者との外出時や送迎・訪問時はひまわりの職員としての意識を持って地域の方と接する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	初年度の為、記載なし	初年度の為、記載なし	職員が付き添い、地域のイベントに参加している。	利用者が暮らしている地域や祭りに出かける。地域で過ごす時間を出来るだけ作る。

E. 運営推進会議を活かした取組み	初年度の為、記載なし	初年度の為、記載なし	運営推進会議で大幅な改善を求められたことはない。小さな指摘も真摯に取り組んでいる。	運営推進会議で上がった議題を職員にも共有・周知できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	初年度の為、記載なし	初年度の為、記載なし	地域で防災訓練が計画されないため、事業所が独自に行っている。	風水害避難マニュアルの見直しと職員への周知をする。